

Enecoと共に切り拓く 新たな電力ソリューション

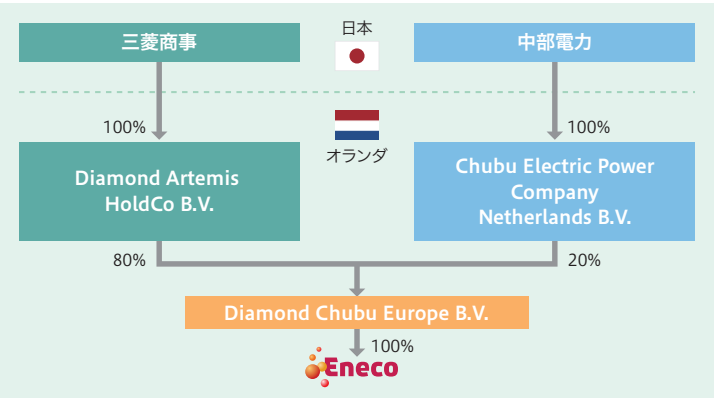


2020年3月、三菱商事と中部電力はDiamond Chubu Europe（三菱商事80%、中部電力20%出資）を通じて、Enecoの全株式を取得しました。日本企業が海外の電力会社を経営する初のケースとして、国内外で注目を集めています。

Eneco概要



本社所在地：オランダ ロッテルダム
創立：1995年
“Everyone’s Sustainable Energy”を掲げる欧州を代表するクリーンエネルギー企業。2007年から他社に先駆けて再生可能エネルギー開発、B to C顧客向けには100%グリーン電力を供給し、グリーンブランドとして確立されています。



全世界50,000社を対象に、企業のCSR評価サービスを提供するEcoVadis調査にて世界上位7%が属するGold評価を獲得しました



ESG評価世界最大手であるSustainalytics調査において世界上位15%が属する“Outperformer”評価を獲得



オランダ企業として初めてScience Based Targetsという2℃目標に整合した意欲的な目標を設定する企業として国際イニシアティブに認定

最前線の欧州で電力会社経営に挑戦

Enecoは、600万件に上る契約基盤と、電力分野の最先端である欧州に事業基盤を持つ総合エネルギー事業会社。同社は、オランダ、ベルギー、ドイツを中心に、再生可能エネルギーを主軸とした発電、電力トレーディング、小売、地域熱供給の四つの事業を展開しています。「Decarbonization（脱炭素化）」「Decentralization（分散化）」「Digitalization（デ

ジタル化）」という三つの「D」のキーワードで象徴される事業環境の変化の中、Enecoが蓄積してきた豊富な知見とノウハウに、中部電力、三菱商事グループがそれぞれ日本や世界各国で蓄積してきた知見を掛け合わせ、欧州を皮切りに、日本やアジアさらには米州へと事業モデルの展開を目指しています。

3社の知見で、欧州域内外の電力ソリューションニーズに応える

三菱商事は今回の出資を機に、Enecoのさらなる成長へ向け、同社の川上から川下の各セグメントを強化し、欧州域外への展開も含め、骨太なポートフォリオを構築していきます。発電部門では、欧州域内で再生可能エネルギーの資産を約2倍に拡大し、域外でも再生可能エネルギー開発を加速。小売部門においては、グリーン電力戦略を継続しながらコスト最適化を図り、日系企業を含め顧客の拡大を目指します。また、電力ソリューショングループのみならず、三菱商事グループが保有するさまざまな機能や商材・サービスを組み合わせ、Enecoの600万件の契約顧客に向けてエネルギーマネジメント関連の新サービスを充実させていく予定です。

Enecoと実現する三菱商事グループ電力事業の将来像

Enecoへの出資に伴い、三菱商事グループ保有の再生可能エネルギー持分容量は約300万kW^{※1}と

り、日系企業No.1の洋上風力資産の持分容量となりました。三菱商事グループは、Enecoの成長を通じ、低炭素社会への移行や地球環境保全に対応した次世代の電力事業モデルへの変革を目指します。

Enecoとは2012年から協業を開始し、2017年には洋上風力事業に加え、欧州最大規模の蓄電事業でも協業を実現



ここ数年、三菱商事グループでは、電力の需要側から供給側までのバリューチェーン全体で利益の極大化を図る戦略を展開しています。需要側では、英国で電力・ガス小売事業を展開するOVOへの出資、同社によるSSE社小売事業部門統合、Bboxxを通じたアフリカのオフグリッド地域^{※2}での分散電源事業参画などを実行。一方、供給側では、米国マーチャント発電資産^{※3}やドイツ海底送電資産等の売却など資産の

入れ替えを実施。「顧客」「需要家起点のビジネスへの転換」をキーワードとするグループ戦略に沿った打ち手を一つ一つ実行してきました。デジタル社会のニーズに応え、経済・社会・環境の三価値同時実現を体現するサステナブルな事業へ、Enecoという力強い仲間

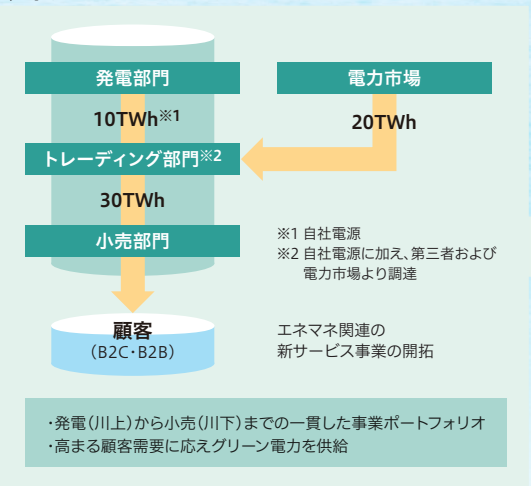
を得て、三菱商事の次なる進化への挑戦が始まっています。

※1 運転済みおよび建設中の持分容量
※2 電力の送配電網が整備されていない地域
※3 売電契約を保有せず、電力卸売市場で売電を行う前提の発電資産

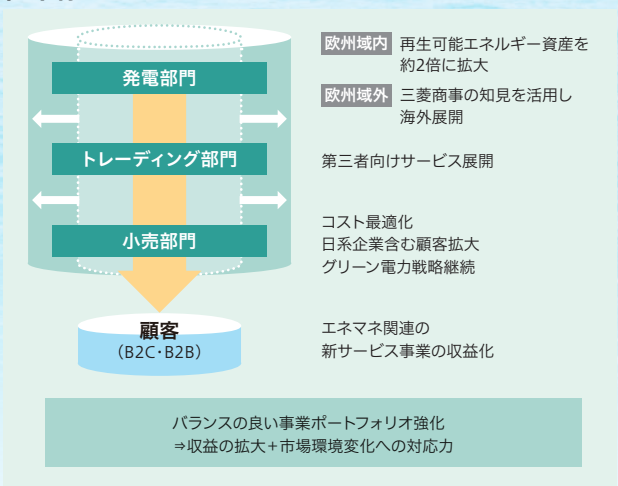
Enecoの将来戦略

- 既存エネルギー事業の強化、再生可能エネルギーについては日本を含めた欧州外地域へも展開
- Eneco契約基盤(600万契約)向けのエネルギーマネジメント関連の新サービス事業の開発・拡大

現状 (垂直統合型のエネルギー事業)



将来像 (各セグメントを強化して骨太なポートフォリオ構築)



Enecoの事業内容

バランスの取れた事業ポートフォリオ					
発電		電力/ガス取引～小売事業～			新サービス
再生可能エネルギー	ガス・その他	電力・ガス・トレーディング	電力・ガス供給	地域熱供給	Smart Home / Flex Service E-mobility
再生可能エネルギー開発 約480万kW ^{※1} うち、稼働済み資産130万kW ^{※2} (陸上風力・洋上風力が中心) ※1 開発中含む総容量 ※2 持分容量	調整用電源(ガス焚) 電熱併給発電所 大型蓄電 ガス貯蔵	電力・ガス取扱量 電力 30TWh ガス 50TWh	小売(B2C・B2B) 約600万件の契約基盤	規制事業(B2C) オランダ内シェア1位 約13.5万顧客	顧客満足度を高め、顧客維持ならびに新たな収益源確保を目指す (例) TOON スマートサーモスタットによる省エネ CHARGE IT EVスマート充電による充電費用削減

B to C顧客層

 オランダ 人口:約1,800万人 契約件数: 国内シェア No.2	 ベルギー 人口:約1,100万人 契約件数: 国内シェア No.3	 ドイツ 人口:約8,300万人 100%グリーン電力事業者 シェア No.1
--	--	--

さらなる進化へ～三菱商事グループの電力事業

	発電・送電	電力トレーディング	小売・分散電源・蓄電
欧州・アフリカ	Diamond Generating Europe (英国) Diamond Transmission Corporation (英国)	ElectroRoute(アイルランド)	OVO (英国) NEoT Capital (フランス) Bboxx (英国)
米州	Diamond Generating Corporation (米国)	Boston Energy Trading and Marketing (米国)	Nexamp (米国)
日本・アジア	三菱商事パワー (日本) Diamond Generating Asia (香港)		MCリテールエナジー (日本) リチウムエナジー ジャパン (日本)